

## 令和5年度 第1層協議体 第2回会議 会議録

日 時 令和5年9月15日（金）午後3時～午後4時30分

場 所 大田原市役所 301会議室

出席委員 10名

内 容

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) アンケートの結果について～2040 問題を見据えた大田原市域の課題について～

### 【事務局説明】

第1回第1層協議体会議において委員にアンケートを実施。結果について別添資料1のとおり報告した。

アンケート結果について、最終目標を「早期に実現可能なもの」「交渉・調整・検討が必要なもの」「深化が必要なもの」に振り分けをして提示。

この中で、移動手段に関してバスなどの乗り換えのモデル作成との意見があったことから、例として事務局で作成し提示した。

### 【委員からの意見】

- ・移動の問題についてはどこの地区でも聞く話である。
- ・高齢者ほほえみセンターについては、高齢者とあるため子供がなかなか来ない。また、教育も含め子供を見てもらえる仕組みづくりをし、持続可能にするために収入を得ながら施策としてやればよい。
- ・ほほえみセンターへ通う方法については、来るときは近所の方に乗せてもらい、帰りは送ってくれた人の都合になってしまう場合が多い。少人数でも近所に通いの場があるとよいと思う。
- ・ほほえみセンターによっては、運営する側と来る人との間に溝があるように感じる。趣味活動がある人は来るけれど、そうでない人が来にくく感じる。受け入れる側の雰囲気づくりも重要。
- ・移動の話について、金田や湯津上などはバスが少ない。例えば社会福祉法人であるやすらぎの里の車両の空き時間を利用させてもらうなど、地区のSCはコーディネートを考えていかなければならない。ほかの社会福祉法人にも声をかけていった方がよい。
- ・社会福祉法人の車両を利用するのは良いと思う。買い物や病院などに行けるとよい。
- ・居場所や移動の問題は非常に難しい。移動が難しく居場所に行きにくいという

のは一定数あっても仕方がないと思うところもあるが、行先やきっかけなど母数を増やして解消していく必要はあると思う。また、過去に五峰の湯でもバスで回って利用客を呼びこむなどやっていたが、そこに移動支援を織り交ぜるなど、民間企業と移動支援について話をするのもよい方法かもしれない。

- ・デマンドの体験ツアーなどは地域でやっている。デマンド交通が使いにくいと言われるが、デマンド交通もバスも利用しないと無くなってしまう。
- ・参考資料に乗り継ぎのバスの時刻が書いてあるが、併せて路線を掲載し、色づけして示すとわかりやすくなると思う。

#### 【結果】

事務局中心で早期に実現可能なものなどに着手しつつ、各課に情報収集し、来年度以降に順次検討していくこととした。

### (2) 「仮称」ささえ愛「通いの場」ガイドブックおおたわら（案）について

#### 【事務局説明】

通いの場に関するガイドブック（案）について内容を説明した。

通いの場について、立ち上げ、運営のポイント、与一いきいき体操などの掲載を行うことを説明した。体操については、国際医療福祉大学と連携し、掲載内容を協議しながら動画や写真など掲載していく予定であることを周知。また、今後、大田原市社会福祉協議会とも共同でガイドブック作成をしていきたい旨説明した。

#### 【委員からの意見】

- ・タイトルの文字サイズを大きくした方がよい。また、「おおたわらの出会い、みんなでささえ愛」の文言は削除してもよいと思う。
- ・フォントのメリハリをつけてほしい。また、文字も少ない方がよい。
- ・ポンチ絵もあるとよい。
- ・文字が多すぎるページがあるため、もう少し少なくてもよいと思う。
- ・体操については、市ではどこが窓口になるのか不明瞭。わかりやすくするために役割分担も必要と考える。栃木県リハビリテーション専門職協会や社会福祉協議会、市のそれぞれの役割表の案なども作ってほしい。

#### 【結果】

ガイドブック作成について別添アンケートで意見を募ることとした。

### (3) イベント「仮称」「ささえ愛おおたわら通いの場をつくろう」について

#### 【事務局説明】

本年度開催予定の通いの場に関するイベントについて、チラシやタイムスケジュールの案を提示。第1部は講演会を、第2部は居場所活動を行っている市内3団体の事例発表を予定している旨説明した。

**【結果】**

案の通り勧めていくことで確認した。

**(4) その他**

特になし。

**4 事務連絡**

**【事務局説明】**

次回会議開催予定日 令和5年10月27日（金）15時から

**5 閉会**